

# キュウリ

## キュウリ作り成功のポイント

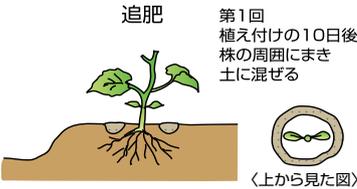
爽やかな緑と香味、心地良い歯触りが大きな魅力で、夏の食卓には欠かせません。長らく野菜の王座を占めていましたが、今ではトマトやイチゴなどに追い抜かれ一般家庭の消費は低迷しています。その原因としては、家庭での浅漬の減少、規格が統一されて用途がサラダに限定されてしまったことなどが挙げられますが、家庭菜園であれば新鮮で収穫の大きさも自由に選ぶことができ、多彩な調理法も楽しめます。

上手に育て上げ、良果をたくさん得る成功のポイントは次の5点です。

### 1 早い育ちに促されるように元肥、追肥を上手に適期に施す

植え付けの20日以上前に、畝全面に堆肥、化成肥料をまき、18〜20cmの深さによく耕し込みます。

④定植時に化成肥料が根に当たらないようにする。

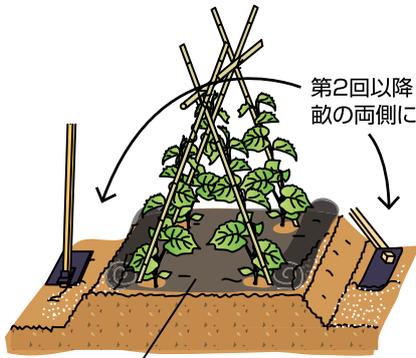


キリトリ線

生育吸収が早いので初期から肥効が十分表れることが重要です。追肥は半月に1回くらい、化成肥料と油かすを与え、肥料切れをさせないことが大切です。

### 2 誘引、摘心を早めに入念に

毎日見回って図のように子づる(孫づるも同様に)の摘心を行い、親づるの支柱への縛りを遅れずに行いましょう。葉が込み過ぎたら、重なり葉や老化葉、病葉を摘除し採光、通風を良くします。



黒色ポリフィルム

### 3 マルチと灌水で防乾

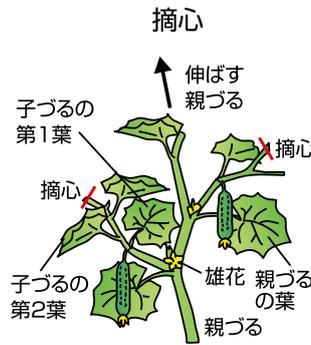
根張りが浅く、根はもろく乾燥に弱い一方で、葉は大きくて蒸散が盛んなので、それに応じる水分補給と、地面蒸発防止のフィルムマルチや敷きわらが欠かせません。

### 4 病害虫防除の薬散を適期に

べと病、炭そ病、アブラムシなどに要注意。特定の株から発生しやすいので、早期に発見、薬剤の早期散布を心掛けましょう。

### 5 草勢に応じた大ききで収穫を

収穫果のサイズ100g程度は市場流通でのこと。自家産はそれにこだわらず大きめ(味はこれが一番)、草勢が衰えたら小さめ(もろきゅうとして利用)、花丸(雌花開花中のもの、つま物として)、開花中の雄花(料理の飾りとして)など、自由度の高い収穫サイズを楽しみましょう。



板木技術士事務所 ● 板木利隆



キュウリを栽培したいあなたに...

〔肥料〕  
化成24号

〔薬剤〕

殺菌剤：ダコニール1000

(べと病・炭素病など)

殺虫剤：マラソン乳剤(アブラムシなど)

マラソン粉剤(アブラムシなど)

ダイアジノン粒剤

(ネキリムシなど) 定植時に使用



「みんなのお便り」投稿者様質問より  
〔農薬の薄め方が知りたい〕  
液剤で1000倍液を作る方法を紹介します。

① スポイトや計量器、注射器を使い1ml計ります。農薬の蓋にもキャップ1杯で0mmと記入してあったりするので参考してみてください。

② 計った液剤を1ℓ容器に入れます。

③ 水を1ℓの目盛りまで入れ薄めたら完成!



④ 毎回使い切れる分量を作り、空になった容器はよく洗ってください。

### 〔病気の薬に粉末のものがある!〕

殺菌剤でオスズメなのがダコニール粉剤です。必要な際はお取り寄せいたしますのでお問い合わせください。

JAグリーン津店  
TEL 059-229-3517